

2023年12月1日
株式会社エスユーエス

2024年4月開講「AR/VR 専門家育成プログラム」および短期コース①～③ の入学説明会&AR/VR 体験会が1/20, 2/17, 3/9に開催決定！

～AR/VR 専門家育成プログラム&短期コース②③は厚生労働省の給付金・助成金対象講座です～

株式会社エスユーエス（本社：京都市下京区、代表取締役社長：齋藤 公男）の子会社である VR イノベーションアカデミー京都（以下「VRIA 京都」又は「当校」）を運営する株式会社クロスリアリティ（本社：京都市下京区、代表取締役社長：齋藤 公男）は、2024年4月開講の「AR/VR 専門家育成プログラム」および短期コースの入学説明会・オープンキャンパス・AR/VR 体験会を1/20、2/17、3/9に開催いたします。



経済産業省 第四次産業革命スキル習得講座認定

AR/VR 専門家育成プログラム

AR/VR 開発スキルでリスキルや起業をめざそう

個人 厚生労働省 / 専門実践教育訓練給付制度・教育訓練支援給付制度

受講料最大 **70%** 給付 + 雇用保険基本手当 **80%** 支給

企業 厚生労働省 / 人材開発支援助成金 ※大企業は経費助成率 60% / 賃金助成 480円

経費助成 **75%** 賃金助成 **960円** (1人1時間)

2024年4月期生 募集中!

VRIA 京都
VR Innovation Academy
KYOTO

AR/VR/メタバース
開発のスクール
AR/VR 技術の
リスキリング

当校の「AR/VR 専門家育成プログラム」は、XR・メタバース分野では希少な、経済産業省「第四次産業革命スキル習得講座（Re スキル講座）」認定および厚生労働省「専門実践教育訓練」指定講座です。一定の要件を満たす場合、個人の方は「専門実践教育訓練給付金」（受講料最大 70% 給付） + 「教育訓練支援給付金」（雇用保険基本手当 80% 支給）、企業の方は「人材開発支援助成金」（経費助成率 75%（中小企業）/60%（大企業）、1人1時間当たりの賃金助成額 960円（中小企業）/480円（大企業））のご活用が可能です。現在開講中（2023年10月開始）の同講座では、個人・企業受講生あわせて9割の方に給付金・助成金をご活用いただいています。

また、新たに、短期コース②「Blender モデリング & アニメーション基礎」、短期コース③「Unity プログラミング & インタラクティブコンテンツ開発」は、「人材開発支援助成金」（経費助成率 75%（中小企業）/60%（大企業）、1人1時間当たりの賃金助成額 960円（中小企業）/480円（大企業））が適用可能となりました。助成額が最大の場合、実質、受講料はほぼ負担なく、かつ賃金助成が支給されるケースもございます。短期コース②は9日間、短期コース③は4週間と短期間のため、社員の方のリスクリング、開発内製化、新規事業開拓等の企業研修にもご活用ください。

○入学説明会・オープンキャンパス・AR/VR体験会

日時	2024/1/20（土）, 2/17（土）, 3/9（土） 15:00～入学説明会（現地会場 & リモート同時開催） 15:30～オープンキャンパス & AR/VR体験会（現地会場のみ） ※各日ともに同内容。お申し込み時に、いずれかご希望の日程をご指定ください。
場所	リモート参加：Zoom 予定（ご参加方法はお申込された方にご連絡いたします） 現地会場参加：入学説明会は VRIA 京都の教室、AR/VR体験会はショールームを予定 VR イノベーションアカデミー京都（VRIA 京都） 京都市右京区太秦西蜂岡町9番地 東映京都撮影所内 VRIA 京都 アクセス（ https://academy.crossreality.co.jp/access/ ）
料金	無料
申込方法	https://academy.crossreality.co.jp/info-session/

※上記日程のご都合が悪い方は、[オンライン個別相談会](#)にて、事前予約制で入学説明や見学を受け付けておりますのでお気軽にご利用ください。

【提供コース一覧】

全コース、全国からリモート受講または現地受講可能。2024年4月生申込受付中。

◆「[AR/VR 専門家育成プログラム](#)」（3.5 ヶ月間）

XR 分野で 20 年以上の研究開発を行う米国の技術パートナーが、世界 28 ヶ所で XR 専門家・起業家を育成してきた世界基準のカリキュラムをベースに、当社が日本市場向けに改訂した 3.5 ヶ月間のプログラム。1 学期の座学で AR/VR 開発プロセスの全分野を網羅し、2 学期のプロジェクトベースドラッシング（開発実務演習）で、産業向け XR 開発の即戦力、応用力を身に付けます。弊社グループがソリューション事業で行っている産業向け XR 開発での経験・ノウハウを取り入れ、メタバースなど、時流に沿ったテーマも考慮しながらカリキュラムをアップデートしていることが特徴です。

◆短期コース①「[XR 概論コース](#)」（1 日）

AR（拡張現実）/VR（仮想現実）の歴史/立体視の仕組み/三次元像の作られ方/世界のさまざまな市場における VR と AR の役割等を学びます。

◆短期コース②「[Blender モデリング&アニメーション基礎コース](#)」(9日間)

モデリングの基礎/テクスチャマッピングの基礎/リギングの基礎/アニメーションの基礎等を学びます。

◆短期コース③「[Unity プログラミング&インタラクティブコンテンツ開発コース](#)」(4週間)

Unity を使ったインタラクティブなコンテンツ開発/ライティング・パーティクル・オーディオ・エフェクトの作成/C#を使ったスクリプティングとプログラミングの技術/スクリプティングのベストプラクティス等を学びます。

※短期コースは「AR/VR 専門家育成プログラム」から基礎講座のみ一部抜粋していますが、短期コース単体は経産省 Re スキル認定講座ではありません。



助成金で企業研修を!

新規事業開拓、開発内製化、社員のリスキリングに。
AR/VR/メタバース開発 スキルのリスキリング、
AR/VR 開発の専門家・起業家育成スクール。

全国リモート受講可能
2024年4月生募集中!

短期コース②

Blender モデリング&アニメーション基礎コース

経費助成 75%
1人1時間
賃金助成 960円
※大企業は経費助成率 60% / 賃金助成 480円

短期コース③

Unity プログラミング&インタラクティブコンテンツ開発コース

~~198,000円~~ ※1

~~418,000円~~ ※1

※1 短期コース②③は助成額が最大の場合、ほぼ実質負担なく受講していただけるケースがございますが、助成額は企業規模やその他の条件によって変動するため、詳細は当校 HP や厚労省公式 HP をご確認のうえ管轄労働局にお問い合わせ下さい。

○企業向け～厚生労働省「人材開発支援助成金」とは

社員の専門実践教育訓練の受講を支援する場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部について助成金が受けられます。同助成金の以下3コースが当校の「AR/VR 専門家育成プログラム」、2コースが短期コース②③対象となりますが、コースによって助成率や条件が異なる他、対象となる労働者・条件でも助成額が変動しますので、[当校 HP の助成金ページ](#)や厚労省リーフレットも合わせてご確認ください。

※注：助成金を申請される企業は、訓練実施計画届、年間職業能力開発計画を訓練開始日の1ヵ月前までに管轄労働局へ提出し、確認を受ける必要があるなど、様々な受給要件がございます。厚労省のリーフレットをご確認の上、詳細は管轄労働局にお問い合わせください。

【厚労省リーフレット】

(1) [人材育成支援コース](#)

対象講座：AR/VR 専門家育成プログラム、短期コース②、短期コース③

(2) [事業展開等リスクリング支援コース](#)

対象講座：AR/VR 専門家育成プログラム、短期コース②、短期コース③

(3) [人への投資促進コース](#)

対象講座：AR/VR 専門家育成プログラム

○個人向け～厚生労働省「**専門実践教育訓練給付金**」・「**教育訓練支援給付金**」とは

「専門実践教育訓練給付金」は、条件を満たし、適用対象となった受講者には、受講料の 50 %（年間上限 40 万円）が支給される制度です。当講座を正式に修了し、1 年以内に雇用保険の被保険者となる就職をした場合は、受講料の 70%（年間上限 56 万円）で給付金を再計算し、すでに支給された分との差額が追加支給されます。

「教育訓練支援給付金」は、「専門実践教育訓練給付金」を受給される方のうち、一定の要件を満たした方が失業状態にある場合に、雇用保険の基本手当の日額の 80%に相当する額をハローワークから支給する制度です。

※注：給付金を受給するには、原則、受講開始日の 1 ヶ月前までに事前の申請手続きが必要です。

また、一定の要件を満たす必要があり、全員に適用される制度ではありません。詳細は、必ずお近くのハローワークまで事前にお問い合わせください。

【厚労省リーフレット】

- ・ [専門実践教育訓練の給付金のご案内](#)（対象講座：AR/VR 専門家育成プログラム）

○当校 HP の給付金・助成金について詳細ページ

<https://academy.crossreality.co.jp/goal/>

■クロスリアリティについて

京都府の太秦メディアパーク構想の一環として、京都府のバックアップのもと、XR分野の世界的リーダーである米国企業と技術提携し、東映京都撮影所内に VRIA 京都を設立。教育機関や企業の DX、リスクリング、人手不足や次世代育成への貢献をビジョンに掲げたアカデミー事業を中心に、技術力・開発力を活かしたソリューション事業や産学公連携の共同研究開発等も行っています。



(VRIA 京都の教室と外観)

主たる事業所	京都市右京区太秦西蜂岡町 9 東映京都撮影所内 VRIA 京都
本店所在地	京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町 8 京都三井ビルディング 5 階
代表者	代表取締役社長 齋藤 公男
設立年月日	2019 年 4 月 1 日
資本金	1 億 5,000 万円 (株主：株式会社エスユーエス 70%、学校法人三幸学園 30%)
事業内容	VRIA 京都の運営および XR ソリューションの企画・開発・販売等
URL	アカデミー事業: https://academy.crossreality.co.jp/ ソリューション事業: https://www.crossreality.co.jp/
お問い合わせ窓口	田中 メールアドレス: xr@sus-g.co.jp / Tel : 075-862-1806

■エスユーエスについて

本店所在地	京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町 8 京都三井ビルディング 5 階
代表者	代表取締役社長 齋藤 公男
設立年月日	1999 年 9 月 1 日
資本金	4 億 3,500 万円 (2023 年 9 月 30 日現在)
事業内容	■IT 分野・機械分野・電気/電子分野・化学/バイオ分野におけるエンジニア派遣・開発請負 ■AR/VR 教育および AR/VR ソリューション開発・販売 ■AI 教育および AI ソリューション ■ERP 分野におけるコンサルティング・システム開発・導入支援 ■その他 IT を活用したサービス事業
URL	https://www.sus-g.co.jp/
お問い合わせ窓口	総務部広報担当 (Mail : soumu@m.sus-g.co.jp / Tel : 075-229-7407)